



関東学院大学

◆ リリースに関するお問合せ先 ◆

2016年2月10日

関東学院大学 広報室

TEL:045-786-7049

アウトドアを通じて、楽しみながら防災を考えよう。

逗子市・旧野外活動センターで、「焚き火」をテーマにワークショップを開催

関東学院大学(本部:横浜市金沢区 学長:規矩大義)では、逗子市の旧野外活動センター(蘆花記念公園内)で、2月13日(土)と14日(日)に楽しみながら「防災」について考えるワークショップを開催します。

この企画は、神奈川県「平成27年度地方創生大学事業(横須賀三浦地域版)」に採択された関東学院大学の「空き家再生プロジェクトの実践による三浦半島地域の連携推進事業」として実施されます。逗子市が所有する施設であるものの、10年近く利用されていなかった旧野外活動センターの有効活用方法を検討する試みの一つ。

当日は、アウトドアを通じた防災の取り組みについて紹介する活動に取り組む「STEP CAMP」の寒川一氏の協力を得て、災害発生時にライフラインが絶たれた場合の「焚き火」の有効活用方法を学んでいきます。

ワークショップ概要

日時: 2月13日(土)、14日(日) 10:00~14:00 (両日とも)

場所: 逗子市 旧野外活動センター(蘆花記念公園内) (逗子市桜山8-13-6)

JR 逗子駅・京急新逗子駅より海岸まわり葉山行きバス「富士見橋」下車徒歩約8分

※ 駐車場のご用意がございませんので、あらかじめご了承ください。

予定内容: 「牛乳パックを使ったお湯沸かし体験」、「1分間でパスタづくり体験」など

参加方法: 氏名、住所、電話番号(当日連絡が取れる携帯電話など)を記載のメールにて申し込み。

neko@kanto-gakuin.ac.jp 担当: 兼子朋也(人間環境デザイン学科准教授)

定員: 30名

主催: 関東学院大学

協力: 逗子市、NPO 法人逗子の文化をつなぎ広め深める会、STEP CAMP

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報室 鈴木敦 TEL.045-786-7049

横浜市金沢区六浦東1-50-1 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に創立された横浜バプテスト神学校を源流とし、1949年の学制改革により関東学院大学となる。2015年4月に社会学部、国際文化学部、教育学部、栄養学部を設置し、10学部大学院5研究科に。学生数10,713名(2015年5月1日現在) 学長 規矩大義(きく・ひろよし)